

# 地域連携ネットワーク通信（仮）

## 地域連携ネットワーク通信の発刊にあたり

公立甲賀病院 副看護部長 地域医療連携室 室長 寺村 幸子

『甲賀医療圏地域連携検討会』は、各病院の地域連携室と地域包括支援センターが協力し、退院支援や在宅支援のため、地域連携ネットワーク推進に向けて活動しています。平成 24 年度は『連携』をキーワードとして甲賀保健所の賛同も得て、月 1 回、甲賀保健所にて事例検討をしています。1 事例について、前半は関係者がリレートークを行い、後半は『連携』を視点とした在宅支援に関する問題・課題について、多職種でグループワークをしています。多職種が自由に意見交換できる“現場レベルの顔の見える関係づくり”に参加し『連携』の輪を広げませんか？ 皆様の参加をお待ちしています。

### 研修会報告

#### 第 4 回 甲賀医療圏 地域連携検討会が開催されました

日 時：平成 24 年 7 月 26 日（木）15 時～17 時

場 所：甲賀合同庁舎 4 階 4A 会議室

参加者：医療関係者 19 人、居宅介護支援事業所 14 人、サービス事業者 11 人、行政等 11 人

計 55 人

テーマ：「顔の見える関係から始まる在宅支援

～難病の方の在宅生活を支援するために～

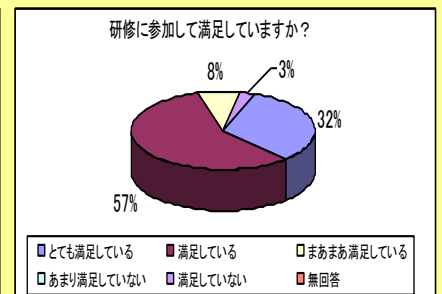
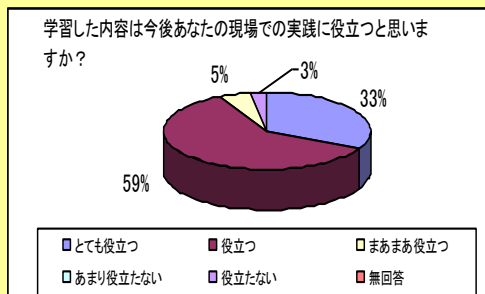
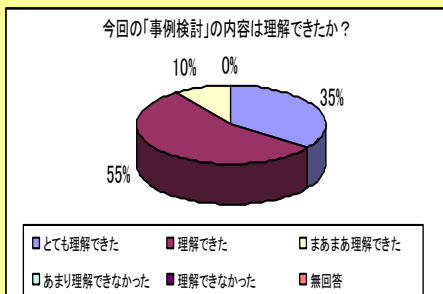
内 容：介護支援専門員、担当医、地域医療連携室の担当者、訪問看護ステーション、甲賀保健所難病担当者、それぞれの立場から発表し、その後グループワークで、難病患者さんの在宅療養における病院と在宅との連携を考えた。



### アンケート集計の結果



甲賀病院 小河医師より  
「ALS」についての講義  
もありました！！



#### ≪感想から一部抜粋≫

- ・主治医の先生が来てくださり、勉強会ももって下さって良かった。
- ・グループワークで、実際に関わるNPA-の方などの生の声を聞く事が出来たので、今後在宅に向け、支援に活かしていきたい。
- ・事例を通して、地域で暮らしていくために、地域で整えていくことは何かと考えるきっかけになりました。
- ・他職種間での連携の大切さやチームで取り組むことの大切さを改めて感じました。



### 研修会の感想（発表者の声）



公立甲賀病院  
内科部長 小河医師

今回、甲賀医療圏地域連携検討会に初めて参加させていただき、在宅患者ケアに関わる各職種の方々のワークアップの様子をじかに見させていただく機会をえた。普段多くの神経疾患の患者さんやその家族の方々と接しているが、本会に参加する事で自分の患者さんの見方が如何に一方的であったかという事を改めて認識させられた。逆に、医療職ではない方々は医療内容が不明なまま在宅生活をサポートする事に対して大きな不安を抱きながらケアにあたっておられる、という事も認識できた。このような会はどうしても医療側からの一方的な報告会になってしまう事も多く、実が少ない場合も残念ながらあるが、本会に関しては双方向からの意見の交流がはかれ、お互いの職種の間隔が縮まるのではないかと感じた。今後も出来るだけ参加させていただき、現場の声をぶつけ合うような場にしていければ、と考えている。



公立甲賀病院 退院調整担当 宮本氏

患者さんが在宅医療を受ける上で、何かあったらどうしたらいいのかという不安が一番大きい。常時訪問する訳にもいかないが、何とか住み慣れた家でと願う集団が、まさにこの検討会ではないだろうか、甲賀圏域も捨てたもんじゃない！そう感じた研修会でした。



甲南病院居宅介護支援事業所 林氏

今回ALS患者のケアとして関わる中で、本人が呼吸器をつけないと選択され、どのように在宅で支えていけばいいのか悩んだ。病院からの退院時本人・家族の思い、緊急時の対応など情報共有し、訪問診療などサービス事業者に繋がったことはケアとしても心強く、連携の大切さを実感しました。



甲賀保健所 難病担当 風間氏

徐々に身体を自由を奪われていくALSという病気と戦う患者とその辛さを 24 時間側で支え続ける介護者の「気持ちに寄り添いながら」各専門職が関わったケースだったように思います。そこには、関係者間の「気持ちの共有」「連携」があったからだと思います。



仁生会訪問看護ステーションこうか 雲氏

今回の事例は、地域連携室や保健所、ケアとの連携を生かした関わりができたと思えますが、日々看護する中ではそうならないこともあり連携の大切さは実感しています。グループ討議では多職種が活発な意見交換や、広い視野で事例検討ができ非常に有意義な会であると思えました。

司会：土土地域包括支援センター 北岡氏

難病の方を地域で支えるためには、現状態を適切に把握し、モデルケースを繰り返しながら支援していくことが重要で、多職種、特に医療との連携は不可欠です。今回医師や難病担当の保健所の参画が得られたことでよりよい事例検討となったと思います。地域包括支援センターをご活用いただき、ケアチームが一人で抱え込まずみんなで考えていけるよう繋がっていききたいと思います。

### 次回の研修会案内

日時：平成 24 年 10 月 22 日（月）15 時～17 時  
場所：甲賀合同庁舎 4A 大会議室  
講師：水口病院 精神科 小宅 由朗 医師  
内容：「精神疾患の連携について（仮）」

次回の参加もお待ちしております！！

